

長池小学校地区 防災計画

長池小学校地区 防災協議会

2024 年 11 月 9 日

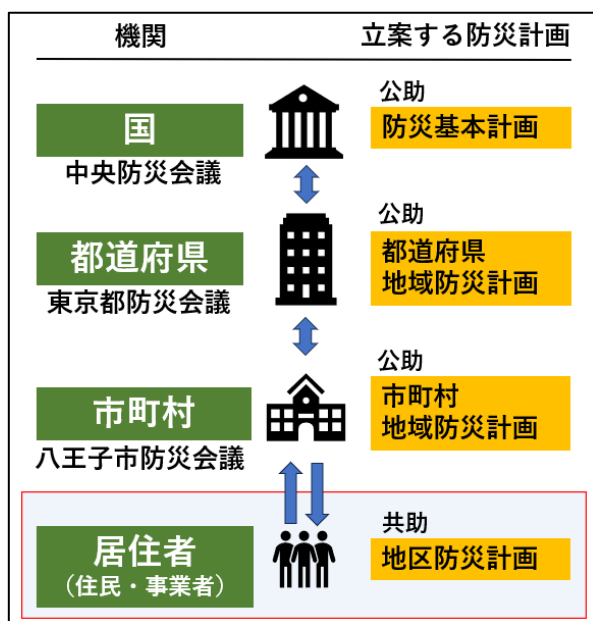
目次

はじめに	3
1. 基本事項	4
1. 1 目的	4
1. 2 基本方針	4
1. 3 対象範囲	4
2. 地区の特性	5
2. 1 自然特性	5
2. 2 社会特性	5
2. 3 被害想定	6
3. 防災活動の内容	8
3. 1 防災活動の体制	8
3. 2 防災活動の概要	9
3. 3 平常時の活動	10
3. 4 発災時の活動	14
3. 5 復旧時の活動	17
別紙	
1. 長池小学校 防災倉庫内の備蓄品一覧	19
2. 住環境の防災点検リスト	20
3. 防災に活用できるツール	21
4. 緊急連絡先, 避難所, 関連施設一覧	22

はじめに

長池小学校地区は地盤が硬く高台にあるため、地震や風水害による被害は軽いた
ろうとの話を耳にすることがあります。一方、近年は日本各地で「想定外」や「過去
に例をみない」自然災害が多発しており、日常生活への影響が大きくなってきていま
す。そのため、長池小学校地区でも平時からの備えを点検し、備えをアップデートし続
ける必要性が出てきています。

本計画は、国が制度化した「地区防災計画」です。地区防災計画は、共助の観点か
ら一定の地区居住者が自発的に作成する防災計画です。本計画では、長池小学校
地区の特性に応じた自助・共助による行動計画をまとめました。



(出所)内閣府「地区防災計画ガイドライン」を基に作成

本計画は地区内の代表者が集まりワークショップを重ねて主体的に作成しました。
日頃からコミュニケーションが活発な地区ですが、本計画を作成する過程で各マンシ
ョン、戸建て、学校関係者などでの横のつながりがより一層強くなりました。今後も地
区内で防災活動を推進し、安心して住める安全な地区にしていきたいと思います。

1. 基本事項

1. 1 目的

100年後も安心して暮らせる安全な地区を目指し、自助・共助による防災体制を整える。

1. 2 基本方針

- ①自身と家族の安全を第一に考えて行動する。
- ②近隣との日常的なコミュニケーションを大切にし、災害時の防災活動に活かす。
- ③防災計画の検証と見直しを繰り返し、計画のアップデートを継続する。

1. 3 対象範囲

1. 3. 1 エリア



八王子市別所一丁目のうち、
図で示すエリアを対象とする。

(出所)国土地理院
地理院地図に加筆

1. 3. 2 災害

自然災害のうち、震災のみを対象とする。震災は首都直下地震を想定し、首都直下地震の中でも当地区と周辺の影響が最も大きいと想定される多摩東部地震を想定した計画とする。

風水害、火山噴火、感染症の各単独災害は対象外とする。但し、富士山が噴火した場合の影響は大きいため、噴火に関する情報収集を進める。対象エリアの一部に土砂災害警戒区域があり、震災と風水害による複合災害への対応も検討する。避難所を運営する際の感染症対策については、八王子市の対応に従う。

対象とする複合災害

	風水害	火山噴火	感染症
震災	△	—	△

(出所)八王子市地域防災計画の表を加筆修正

2. 地区の特性

2. 1 自然特性

- ・八王子市の東南端に位置し、八王子市別所一丁目の一部である。
- ・多摩市と町田市に近接し、相模原市にも近い。
- ・地形上は多摩丘陵に位置する。主に丘陵地の上部に位置し、海や河川は無い。
- ・里山を保全している長池公園に隣接し、自然環境に恵まれている。

2. 2 社会特性

- ・マンションと戸建ての住宅が対象エリアの大部分を占め、一部に商業施設もある。
- ・小学校が1校、学童保育所が2施設。
- ・人口は約5000名である。
- ・多くの町会・自治会には自主防災組織があるが、町会・自治会が無いエリアもある。
- ・建物の多くは1995年から2000年頃に建築、全て1981年の新耐震基準を満たす。
- ・住民の高齢化が進む一方、築年数の浅いマンションでは子どもも多い。
- ・共働きの家庭では近隣の保育所、小中学校や学童保育所を利用する家庭も多い。

建築基準法への適応状況

施行年月	耐震基準	倒壊しない震度	当地区の該当建築物
1981 年 5 月以前	旧耐震基準	震度 5 程度	なし
1981 年 6 月～2000 年 5 月	新耐震基準	震度 6 強～7 程度	全建築物
2000 年 6 月以降	現行耐震基準	木造の耐震基準強化	多くの木造住宅

当地区の特徴と災害時の影響

特徴	安心材料	災害リスク
郊外の住宅地	日中に地区外からの流入少	都心勤務者の帰宅困難
丘陵地	水害が想定されない	周辺低地の浸水による孤立リスク
無電柱化	被害軽減、救助活動の円滑化	復旧に時間が掛かる
高層マンション	広い集会所に自主避難可能	エレベーター停止の影響、長周期地震動

2. 3 被害想定

2. 3. 1 想定震度

- ・各首都直下地震で震度 6 弱が想定されている。
- ・多摩東部直下地震での被害が最大。

震災の種類	長池小学校地区	周辺エリア
都心南部直下地震	震度 6 弱	同左
多摩東部直下地震	震度 6 弱	震度 6 強(下柚木、鏈水、町田市など)
大正関東地震	震度 6 弱	同左
立川断層帯地震	震度 5 強～震度 6 弱	同左
南海トラフ巨大地震	震度 5 弱～震度 5 強	同左

(出所)東京都「首都直下型地震等による東京の被害想定」令和 4 年 5 月 25 日公表

2. 3. 2 ライフラインの被害想定

被害想定と復旧想定 八王子市全体 多摩東部直下地震 冬・夕、風速8m/s

	電力 停電率	固定電話 不通率	携帯電話 不通率	上水道 断水率	下水道 管きよ被害率	ガス 供給停止率
被害想定	5.3 %	2.0%	20%未満	21.4 %	5.2 %	0.0 %
復旧想定	約 4 日後	約 4 日後	約 4 日後	約 17 日後	約 21 日後	約 6 週間後

(出所)東京都「首都直下型地震等による東京の被害想定」令和 4 年 5 月 25 日公表

①上水道

上記想定は浄水施設、受水槽や給水管など利用者側の給水設備での被災等は対象外なので、状況によっては復旧に更に時間を要することに注意が必要。

②電話

固定電話の不通率は、焼失面積と電柱被害数より算出されている。そのため、焼失リスクが低く電柱が無い当地区の不通率は上記より低いと想定できる。

携帯電話の不通率は、最低ランクのランクE(不通率 20%未満)である。ほぼ全ての基地局には非常用電源が整備されており、停電した場合でも地震発生直後は基地局の機能は維持される。これらの状況から、当地区の震災直後携帯電話不通リスクは低いと想定される。一方、電話は集中してつながりにくくなる場合がある(対策は p.16、別紙 3 参照)。

③エレベーター

閉じ込めにつながり得るエレベーター停止台数、停止率

東京都全体 (都心南部直下地震)	八王子市全体 (多摩東部直下地震)
22,426 台 / 約 166,000 台 = 14%	510 台

(出所)東京都「首都直下型地震等による東京の被害想定」令和 4 年 5 月 25 日公表

救出／復旧時間の実績例

項目	大阪北部地震での調査結果
閉じ込め救出に要した時間	約 87%の閉じ込めは 3 時間以内に救出
運転休止の復旧に要した時間	95%超は発災後 2 日以内に復旧を完了 (対象:大手 5 社)

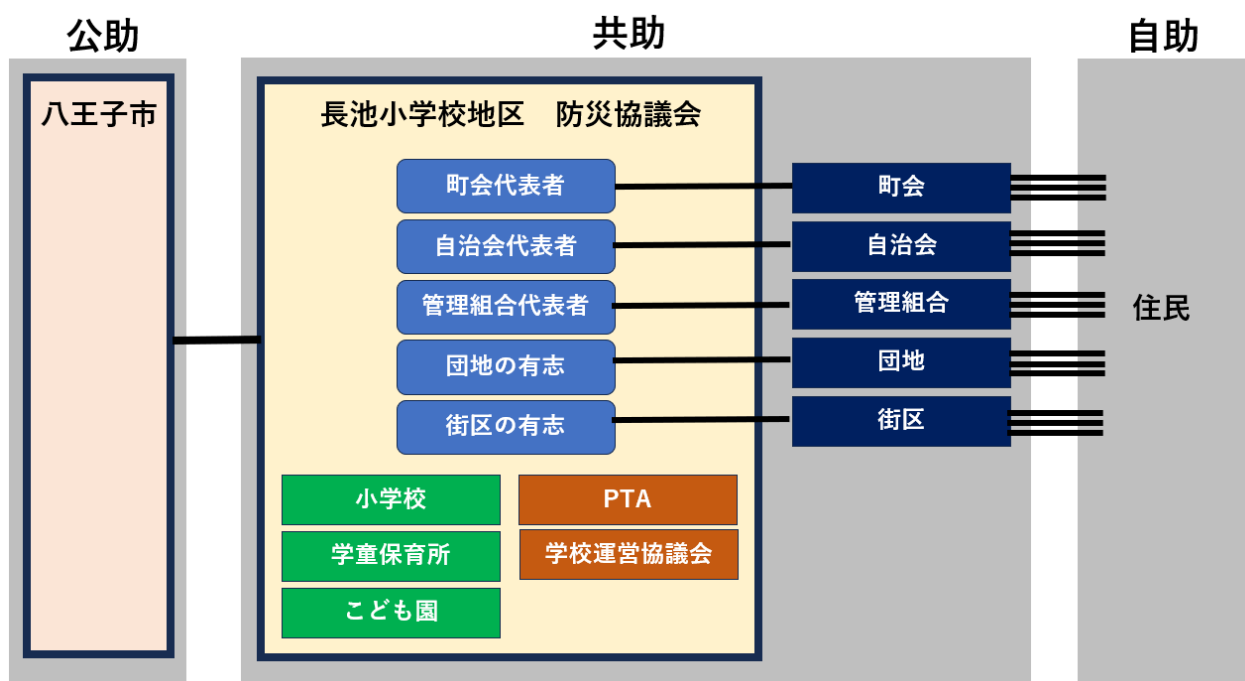
(出所)国土交通省 エレベーターの地震対策の取組みについて(報告)

2. 3. 3 区域別の災害リスク

災害リスク	区域	被害想定
細街路閉塞	町田市・日野市との境界部、北野台	緊急車両やゴミ収集車の到着遅延
液状化	多摩ニュータウン通りなど周辺の幹線道路	
土砂災害警戒	第三団地／長池西地区の一部	土砂災害
風水害	谷戸に近い低地	浸水

3： 防災活動の内容

3. 1:防災活動の体制



3. 2 防災活動の概要

3. 2. 1 当地区で想定されるシナリオ

	初動		応急	復旧
	発災直後	3 日後	1 週間後	1 か月後
地区全体	同時多発火災 避難所に避難	復電時通電火災 混乱時詐欺被害	豪雨で土砂災害 ASD※	震災関連死 PTSD※
	上下水道途絶 停電	計画停電実施		上下水道復旧
	心理的変化 茫然自失期ハネムーン期(被災者同士で連帯感) 幻滅期(1～数か月)			
長池小学校 学童保育所 こども園	児童の帰宅困難 食糧・水の不足	物資受取希望増 食糧備蓄枯渇	安否確認 学校再開準備／学校再開 こころのケア	
居住建物 自宅	家具転倒 在宅避難 集会所に避難	家庭内備蓄枯渇 集会所備蓄枯渇	り災証明書申請 生活再建 こころのケア	
	エレベーター停止／閉じ込め トイレ利用不可 安否確認困難 周辺エリア液状化で緊急車両到着遅れ		生活必需品の入手困難 持病薬の不足 乳幼児用品／衛生用品の不足 トイレ利用不可が長期化 ゴミ収集車遅延／不衛生ゴミ集積	
外出先	携帯電話不通 帰宅困難 トイレ利用殺到 食糧・水の不足	公共交通機関の復旧遅れ 運行再開時に人が駅に殺到		

※ ASD: 急性ストレス障害、PTSD: 心的外傷後ストレス障害

被災地域の心理的变化（表中の波線）

- ・発災直後 : 被災の心理的衝撃で茫然自失となり、恐怖・衝撃的行動・虚脱状態を呈する。
- ・数日～数週間 : 相互扶助の活動や至福感・多幸症的、躁的言動が生じる。
- ・1 か月～数か月: 人的物的喪失の甚大さに直面し、うつ、自責感、喪失感、被害感が生じる。
- ・数か月以降 : 多くの被災者の心理は正常化、一部の被災者は環境変化で二次的ストレス。

（出所）自治体の災害時 精神保健医療福祉活動マニュアル

3. 2. 2 役割分担

平常時

	誰が	何を	どれだけ	どのように
自助	各家庭	食糧、水、持病薬	最低 3 日分 出来れば 7 日分	備蓄、水携行タンク
		停電対策		LED ランタン等
		トイレ対策	7 日分（35 回分）	簡易トイレを備蓄
		住環境整備	（別紙3）	住居点検（別紙3）
		安否確認体制	複数の連絡手段	体験利用日に訓練
		情報入手手段	最低 3 日分	ラジオ、予備電池
		地震火災対策	初期消火の備え	火災報知器、消火器
		ペットフード対策	1～2 週間分のフード	備蓄
共助	各団体	啓発、訓練、備蓄	団体による	広報、備蓄、防災訓練
		災害時要配慮者把握	団体内	日常交流、防災活動
		防災コミュニティの構築	地区内全体	日常交流、理事会
		設備点検・保守	毎年	イベント・定期点検等
	学校	備蓄品を保管	（別紙1）	八王子市備蓄倉庫
		防災訓練	毎年	防災訓練実施
		防災教育	適宜	授業に取り入れ
	学童	防災訓練	毎年	防災訓練実施
	当団体	防災コミュニティの構築	隔月／随時	本部会、メール
		啓発活動	隔月／随時	本部会、メール
		地区防災計画 更新	毎年検討	訓練等で検証
		外部連携	適宜	打ち合わせ、メール
公助	市	災害への耐性強化	‘30 年人・物被害半減	耐震化・消防力強化等
		避難所体制構築	開設～閉鎖	地域防災計画で公表
		啓発活動、訓練	適宜	広報・出前講座・訓練
		地域防災計画	毎年検討	必要があれば修正

- ・南大沢給水所から飲料水を運ぶために、キャリーカートを備えておくと便利。
- ・経済産業省と日本トイレ協会は、簡易トイレの備蓄について「5 回/日/人 × 7 日=35 回分」を推奨。
- ・情報入手手段は、停電、通信遮断を想定してラジオを推奨。NHK ラジオの場合、災害時は TV と同時音声流れるので TV と同等の情報を安定して得られる。

災害時

	誰が	何を	どれだけ	どのように
自助	各家庭 各自	家族の安否確認	即時	災害時安否確認サービス
		エレベーター	行先ボタン	震災時搭乗なら全階押す
		救助要請	即時	119に電話／近所に大声で
		通電火災防止	停電時／避難前	コード抜く、ブレーカーOFF
		初期消火	炎が目の高さ以下	家庭用消火器
		り災申請準備	片付けの前に撮影	被害家財／建物を撮影
共助	各団体	安否確認	各戸に確認	SOS/無事です 掲示等
		被害状況確認	各団体内	目視、ヒアリング
		団体内情報共有	適宜	メール、口頭等
		当団体との連携	適宜	メール、口頭等
	学校	児童の安全確保	保護者引き取りまで	校内で安全確保
		安否連絡	発災直後	アプリで保護者へ連絡
		避難所開設・運営	開設～閉鎖まで	市と協力
	学童	児童の安全確保	保護者引き取りまで	学童内・校内で安全確保
		安否連絡	発災直後	アプリで保護者へ連絡
	避難者	避難所運営	長期化時に自主運営	市・学校と協力
	当団体	災害ボランティア センターと連携		
		状況把握		
		情報共有		
		市との連携	ヒト・モノ・情報	電話、口頭等
公助	市	避難所開設・運営	開設～閉鎖まで	専任参集職員が対応
		災害広報	適宜	防災行政無線・メール等
		要配慮者の支援	災害時要配慮者	安否確認、応急支援
		救助・救急	発災後 72 時間以内	救助資機材を活用
	都／国	医療支援	都内／全国	DMAT, DPAT 等

自助で必要な備蓄の品目と量は、東京都防災ホームページの「東京備蓄ナビ」で家族の人数等を入力すると明示される。<https://www.bichiku.metro.tokyo.lg.jp/>



3.3 平常時の活動

3.3.1 防災コミュニティの構築 <共助>

- ・長池小学校地区 防災協議会にて、地区の代表者が定例打ち合わせ。
- ・地区内での定例イベントを継続。
- ・町会／自治会／管理組合による定例打ち合わせ。
- ・ウォーキング、ペットの散歩、井戸端会議などの日常的なコミュニケーション。

当地区で行われている活動やイベント（隣接する地区との共同イベントを含む）

	全般	子ども／親子向け	高齢者向け
学校関係	—	運動会、学校公開、学童まつり、清掃活動・防犯パトロール、寺子屋	—
地区	長池ぼんぽこ祭り、浄瑠璃まつり、各団体での祭り、草刈り、防犯パトロール	—	老人会

3.3.2 町会、自治会での防災活動 <共助>

- ・災害用品の備蓄と点検
- ・防災訓練
- ・啓発活動、広報

3.3.3 災害時要配慮者等の把握 <共助・自助>

呼称		定義	
災害時要配慮者	避難行動要支援者	自力での避難が困難 で支援を要する者	災害発生時に情報入手や避難行動で制約を受けやすい 高齢者、障害者、病弱者、 乳幼児、妊婦、外国人など
	避難行動要支援者 以外	自力で避難可能	
ペット		犬・猫などの飼育動物等	

① 避難行動要支援者

当地区での支援は八王子市が国のガイドラインに基づき進める「個別避難計画」に従うが、平時から計画の状況把握を進める。

② 避難行動要支援者以外

当地区には小学校が1校、学童保育所が2か所あり、こども園が隣接している。そのため、発災直後の子ども達への支援が課題である。高齢化が進む一方、障害者、

病弱者、乳幼児、妊婦、外国人もあり、避難の支援を必要としている。災害時要配慮者の状況把握を平時から進める。

③避難所にペットと一緒に避難する「同行避難」への備え <自助>

避難所ではペット向けの備蓄がなく、動物用の物資は入手しにくい。平時からの備えとして、1～2週間分の備蓄を保管する。災害時は飼い主とペットが離れ離れになることがあるので、ペットを探す手がかりとなる情報をペットの体につけておくと安心。

(出所)八王子市 HP から抜粋

3. 3. 4 防災訓練 <共助>

各団体での防災訓練の計画や状況を情報共有し、防災訓練への参加を促す。また、防災訓練を地域開放している団体の防災訓練に参加し、体験を通して団体間で相互に防災訓練をブラッシュアップする。地区全体での総合防災訓練も検討する。

3. 3. 5 防災意識の普及啓発と継続 <共助>

当協議会の参加メンバー間での情報交換、防災知識のアップデートを促進し、防災意識の啓発を進める。また、参加メンバーは各団体内への啓発を進める。

当地区では被害想定が東京都内、及び、八王子市内で相対的に軽度であり、『被害は軽度だろう』と思い込みやすく、平時の備えが希薄になる懸念がある。

3. 3. 6 住環境の点検 <自助> 別紙3(住環境の防災点検リスト)参照

①高層階ほど家具転倒リスクが大きい

東京消防庁によると、2003年から2016年に起きた震災による負傷者の3割～5割が家具類の転倒や落下によるものだった。また、家具類が転倒・落下・移動した割合は、1～2階の割合を1とすると、6階～10階は2倍、11階以上は3倍であったとのこと。そのため、特に高層階は家具類の固定を重点的に進める。

②首都直下地震は危険回避行動をとる時間がほとんどない

緊急地震速報を受けてから強い地震が来るまでの猶予時間はわずかだが、首都直下地震の様な内陸地震では危険回避行動の猶予時間がほとんどない。気象庁によると、地震波の解析や伝達に一定の時間(数秒程度)がかかる。そのため、内陸の浅い場所で地震が発生した場合は、震源に近い場所への緊急地震速報の提供が強い揺れの到達に原理的に間に合わないとのこと。平常時からの住環境の点検が首都直下地震での負傷を防ぐポイントである。

3.3.7 地震火災の防止 <自助>

阪神・淡路大震災では、各所で同時に火災が発生する「同時多発火災」により消火に時間が掛かった。内閣府によると、同震災では火災発生状況の6割が電気関係によるものだった。電気火災への平時からの備えとして、各家庭での①火災報知器、②消火器、③感震ブレーカーの設置を促進する。

3.4 発災時の活動

3.4.1 避難先

- ・在宅避難を基本とする。
- ・避難先は以下の通り。集会所を自主避難所として開設する場合は集会所の活用も検討する。

区分	場所	用途
指定避難所 (避難所)	長池小学校	災害が発生した場合や発生する可能性が高まった場合に、市民の安全を確保する役割や、被害が復旧されるまで、住家を失った市民等が臨時に生活を行う場としての役割を持つ施設。
指定緊急避難場所 (広域避難場所)	東京都立大学	大地震が発生したときに発生する延焼火災や有毒ガスなどの危険から身を守るための場所。

(出所)八王子市 HP

3.4.2 避難方法

各自主防災団体の方針に従う。自主防災団体が無いエリアの住民は八王子市等の信頼できる情報を基に個別に判断する。

3.4.3 避難経路

①長池小学校に避難する場合

長池小学校地区内での交通遮断は想定されていない。ブロック塀などの危険個所を平時から確認し、自助での避難ルートを想定しておく。長池小学校では、学びの一環として児童が「まちたんけん」を行って危険箇所を地図にまとめている。児童や保護者は、その活動を災害時に活かす。大規模火災時は、小学校の広さでは輻射熱の影響を受け危険なので長池小学校には避難しない。

②東京都立大に避難する場合(大規模火災)

多摩ニュータウン通りは液状化のリスクがあるため、回避経路を平時から確認する。また、長池小学校地区から多摩ニュータウン通りを渡って東京都立大に行く経路は限られており、渡る際は群衆が密集することによる二次災害に気を付ける。

③避難所にペットと一緒に避難する「同行避難」

「同行避難」の可否は避難所管理者の判断に従う。避難所に「同行避難」する場合、ペットを居住スペースに入れることはできない。盲導犬、介助犬、聴導犬は原則、居住スペースに入ることができる。
(出所)八王子市 HP から抜粋

3. 4. 4 地震火災

①震災直後の火災防止

震災後は停電した電気が復旧した際に起きる「通電火災」に注意が必要である。例えば、地震で家具が転倒し傷ついた電気コードに電気が通ると火花が出て火事になることがある。

	震災後の通電火災防止策
1	震災後は、すみやかに電気のスイッチを切り、コンセントからプラグを抜く。
2	安全が確認されるまではブレーカーを落とす。
3	避難する場合もブレーカーを落とす。

②火災への対応

	室内で火災が起きた場合の対応 (知らせる ⇒ 消火する ⇒ 逃げる)
1	震災時はまず身の安全の確保を最優先にし、揺れがおさまってから消火する。
2	大声で火災を知らせて助けを求める。(冷静さを保つ効果もあり)
3	炎が「目の高さ」まで大きくなったら、消火を諦めてすぐに避難する。

② 同時多発火災からの避難

首都直下地震では、通常の消防の対応力をはるかに超えた「同時多発火災」の発生が想定されている。周りで火災が発生した場合、「指定された避難場所にできるだけ早く逃げる」ことが重要。長池小学校など、小中学校の校庭の広さでは、燃え広がってきた火災の輻射熱(火災から放出される熱)によって、長時間熱い空気を吸うことになり、気管がやられてしまい危険である。大規模火災での避難先は東京都立大学である。

避難開始のタイミングは、およそ 500 メートル先に煙が 2 本以上見えた時。長池小学校からローレルスクエア南大沢の高層棟(25 階建)までが約 500m の距離である。「まだ避難しなくても大丈夫だろう」という正常性バイアスに注意し、早めに避難するこ

とが大切。正常性バイアスとは、「自分は大丈夫だろう」「誤報だろう」「まだ大丈夫だろう」などと、自身にとって良い方向に考えてしまう人間の本能である。

(出所) NHK 防災 HP

3. 4. 5 物資の配布

「八王子市の備蓄」は長池小学校の体育館横にある防災倉庫である。防災倉庫は市の職員と施設管理者(学校長)が管理している。

八王子市からの物資の供給は以下の通り段階的に進められる。学童保育所には食糧の備蓄がなく、保護者が児童を引き取りに来るまで学童保育所にて児童を保護する必要がある為、配布の際は学童保育所への配布に配慮する。市から供給される物資の供給場所は避難所(長池小学校)のみで、マンションの集会所など避難所以外の場所へ市から直接供給することはない。

区 分	時期の目安	供 給 方 針
① 第1段階	発災当日	備蓄品を被災者に供給するが、必要に応じて市内の協定締結団体等から緊急調達する。
② 第2段階	2日目以降	①以外に、状況に応じて東京都や近隣市町村等に調達要請した救援食糧を供給する。
③ 第3段階	4日目以降	①、②以外に、状況に応じて炊き出しや業者委託による供給、給食センター(特殊栄養食品ステーションと兼用)から主食と汁物の提供を行うとともに、食事に配慮が必要な被災者に対しては特殊栄養食品等の提供による食支援を行う。

(出所)八王子市 地域防災計画から引用

3. 4. 6 安否情報の共有化

平時から複数の情報伝達手段を用意し、災害時には安否状況、居場所等の情報を家族や友人と共有する。体験利用日に自主訓練を行うと良い。以下は東京都防災ホームページで紹介されている安否確認手段の例。

また、「三角通信」も推奨される。これは、被災地から遠方には電話がつながりやすい特性を活かし、遠方の親戚等に連絡を取り合って安否確認し合う方法である。

①各通信事業者が提供する災害時の安否確認サービス(別紙3参照)

災害用伝言ダイヤル(171)	災害用伝言板(web171)
NTT ドコモ 災害用安否確認	au 災害用伝言板サービス
ソフトバンク 災害用伝言板	ワイモバイル 災害用伝言板サービス

体験利用日

- ・毎月 1 日・15 日
- ・防災週間(8 月 30 日から 9 月 5 日)
- ・防災とボランティア週間(1 月 15 日から 1 月 21 日)
- ・正月三が日(1 月 1 日から 1 月 3 日)

②各通信事業者の情報を横断的に検索

- ・Google パーソンファインダー (安否情報)

③東京都防災アプリ

3. 4. 7 犯罪の防止

災害時は以下の様な犯罪が懸念される。八王子市、南大沢警察署、青少年対策松木地区、各町会・自治会で連携して情報共有を進めると共に、必要に応じて自主防犯パトロールを行う。

- ・避難中の家屋への空き巣や避難所における置引き
- ・被災者宅を訪問し、物品販売や家屋修繕等でうそを交えたり不安をあおったりして契約させる
- ・医薬品が足りないことに乗じた無承認医薬品の販売・広告等

(出所:警視庁 HP)

3. 5 復旧時の活動

3. 5. 1 リ災証明書／被災証明書

市への申請により、家屋の被害には「リ災証明書」、家財の被害には「被災証明書」が発行される。この証明書をもとに、生活再建支援金の給付や応急仮設住宅への入居などの行政支援が行われる。掃除・片付けの前に被害状況を撮影しておく必要がある。写真の撮り方は市のホームページに記載されている。被害程度により調査方式は異なる。申請開始可能日は発災後に市からお知らせがある。

方式	被害の程度	申請方法
自己判定方式	被害の程度が比較的小さい場合 (10%未満の損壊)	郵送又は市役所財政部税制課(本庁舎 2 階)に提出
被害認定調査方式	上記以上の被害の場合	市が被災状況を調査し発行

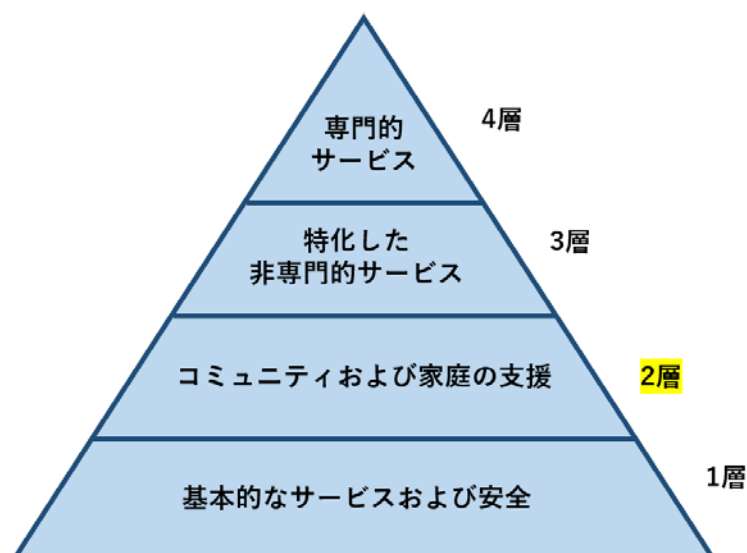
証明書発行の申請先

	場所/窓口	備考
り災証明書発行	市役所税制課	https://www.city.hachioji.tokyo.jp/emergency/005/p025593.html  電話: 042-620-7396
被災証明書発行	市役所防災課	https://www.city.hachioji.tokyo.jp/emergency/bousai/m12873/007/p014241.html  電話: 042-620-7208

3. 5. 2 こころのケア

「こころのケア」は4層の支援体制が提唱されている。第4層の専門的サービスの手前で食い止めるために、第2層での家族や地域社会の安定化を通じて自助、共助を促進することが大切。(出所)IASC

具体的には、地区の災害では自らのストレスを和らげるように心がけ(自助)、相手にも働きかける(共助)ようにすることが大切。



施設名	長池小学校		
所在地	別所 1-55		
設置年度	H19	鍵	B4623
種別	ﾌﾟﾚﾊﾌﾟ (18 ㎡)	階	独立型

品名		数量	品名	数量
乾ﾊﾝ ※1	60 食/箱	1,800 食	災害用 コンロセット※2	本体 台
アルﾌﾞﾐ(白飯)※1	50 食/箱	600 食		動薪(3kg) 箱
クラッカー※1	70 食/箱	420 食		やかん(4L) 個
ミネラルウォーター※1	12 ㍔/箱	840 ㍔	卓上コンロ※2	10 台
毛布	10 枚/箱	300 枚	軍手※2	双
アルﾐﾌﾞﾗﾝｹｯﾄ (一時滞在施設用)※2	200or300 枚/箱	枚	のこぎり	5 本
アルﾐﾌﾞﾗﾝｹｯﾄ (避難所用)	120 枚/箱	600 枚	金てこ	5 本
ｺﾞｻﾞ	35 枚/箱	枚	スコップ(剣)またはスコップ(角)	12 丁
フロアーマット	50 枚/箱	271 枚	ｽﾄｰﾌﾟ	5 台
簡易間仕切り(ファミリールーム)		5 個	発電機	1 台
簡易更衣室(プライベートルーム)		5 個	ロープ 50 ㍔	5 巻
簡易型避難用テント		10 張	ろ水機	1 基 (設置場所: プール機械室)
簡易ベッド		3 個	ポリタンク	25 個
タオル		580 枚	非常用飲料水袋(6リットル)※7	200 枚
石けん ※2		個	災害対策用シリコンコップ(12 個/箱)	5 箱
歯ブラシ	1 箱/150 本 (子供用 15 本、大人用 135 本)	150 本	液体ハミガキ	個
ガソリン携行缶		1 個	逸走犬用ケージ	3 セット
三角巾※2		枚	仮設トイレ(一般)	2 基
キャリーフ(携帯型担架)		10 個	仮設トイレ(車椅子対応)	1 基
ゼッケン		5 枚	トイレ処理袋(200 袋/箱)	15 箱
トイレットペーパー (※50m1巻で換算)		96 巻	ランタン※4	22 個
下着セット※2		個	テント※2	張
生理用品	新 30 袋/箱※3	1 箱	筆談用ホワイトボード	1 枚
エアーマット	20 枚/箱	20 枚	害虫対策用ネット(4 巻/箱)	1 箱
エアーマット(簡易型避難用テント用)	30 枚/箱※3	30 枚	災害対策用ウェットティッシュ(200 個/箱)※3	2 箱
トランジスタメガホン		1 個	台車	1 台
ガソリン缶	4 ㍔/箱	1 箱	エンジンオイル	1 ㍔/缶
灯油缶	4 ㍔/箱※3	箱	備蓄用電池 ※6	1 箱/5 バック 1 バック/6 本
車椅子(1 台) 車椅子用スロープ(台)※2 保管場所		防災倉庫	地域防災無線	設置場所: 職員室 ラック有
応急給水・消火セット(消火栓・青袋)		1 セット	特設公衆電話保管場所※2	
応急給水セット(給水栓・黄袋)		1 セット	ソーラーパネル付蓄電池セット※3	1 セット
風水害対策用ミネラルウォーター※1、※2	12 ㍔/箱	㍔	風水害対応用 缶詰入りパン※1、※2	24 食/箱
風水害対応用 クラッカー※1、※2	各 70 食/箱	食	扇風機セット	1 セット/本体、コードリール、保護フェンス、カバー
風水害時初動対応セット 保管場所(セット)※2			避難所初動対応セット 保管場所(1 セット)	防災倉庫
感染症対策資機材	フェイスシールド	2 箱/100 人分	非接触式電子温度計※5	3 個
	アルコール消毒液	1 個/1L	防護衣(レインコート)※6	枚
	ビニール手袋※5	1 箱/100 枚	マスク(100 枚/箱)※5、※6	箱

備 考

- ※1 入れ替え時期によっては一時的に欠品の可能性有。
 ※2 一部施設のみ配備
 ※3 今後全施設の防災倉庫へ納品する予定
 ※4 トイレ用、足元灯用含む
 ※5 風水害初動対応セットを配備している施設は、セット内に入っています。
 ※6 風水害優先開設避難所のみ
 ※7 恩方市民センターのみ、飲料水袋ポリ容器(5 ㍔)を配備

住環境の防災点検リスト

		項目	確認内容	✓
屋 外	1	屋外の危険物を確認	屋外にあるブロック塀や倒れそうな木など、危険物を確認して対策を講じる。	
	2	家の外壁を点検	外壁のひび割れや損傷を点検し、補修が必要な箇所を確認する。	
	3	屋根の雨樋を清掃	雨樋を清掃し、詰まりを防ぐ。	
屋 内	4	家具を固定	家具を壁に固定しているか確認する。	
	5	引き出しや扉の「飛び出し防止器具」設置	揺れにより引き出しや扉が開いて中身が飛び出してこないようになっているか確認する。特に、包丁、食器棚は要注意。	
	6	扉のない棚の「落下防止器具」設置	落下防止器具を使って棚の中身が飛び出さないか確認する。	
	7	テレビ・電子機器を固定	テレビや冷蔵庫など大型家電が転倒防止器具で固定されているか確認する。	
	8	高所に置かれた物の確認	高所に置かれた物が落ちてこないか確認する。	
	9	ガラスの飛散防止	窓やガラス製品に飛散防止フィルムを貼る。	
	10	照明器具の落下防止	吊り下げ式の照明器具はチェーンなどで補強しているか確認する。	
	11	耐震マットの劣化確認	家具や家電の下に敷いてある耐震マット(滑り止め)の劣化がないか確認する。	
	12	固定器具の増し締め	固定器具のねじが緩んでいないか確認し、必要に応じて締め直す。	
	13	火災警報器を確認	各部屋設置の火災警報器の動作を確認する。	
	14	煙感知器の電池交換	煙感知器の電池を定期的に交換する。	
	15	消火器を点検	キッチンやガレージ設置の消火器の使い方再確認と、使用期限を確認する。	
	16	電気配線を確認	電気配線が安全に設置されているか、埃が溜まっていないか確認する。	
	17	電気コードを整理	電気コードを整理し、つまずきや火災の原因にならないか確認する。	
	18	暖房器具の安全確認	暖房器具をつけて正常に動作するか点検する。	
	19	非常用調理器具を点検	ガスコンロやキャンプストーブなど、非常用の調理器具が使えるか点検する。	
追記				

防災に活用できるツール

情報収集ツール（八王子市）

防災情報メール

QR コードで登録、又は、
「t-icho@sg-p.jp」に空メールを送信

PC, スマートフォン ガラケー



コスモキャスト

防災行政無線による放送をスマートフォンで聞ける

Android

iOS



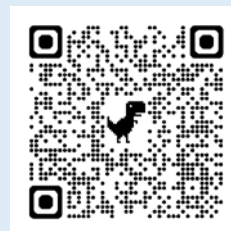
安否確認ツール

災害用伝言ダイヤル(171)

災害用伝言版(web171)

■伝言の録音方法	■伝言の再生方法
171 をダイヤルする ↓ ガイダンスが流れます 録音の場合 1 暗証番号を利用する録音は 3 ↓ ガイダンスが流れます 連絡を取りたい被災地の方の固定電話番号または携帯電話・IP電話の番号をダイヤルする。 0 0 ↓ ガイダンスが流れます プッシュ回線の場合は 1 ダイヤル回線の場合はダイヤル不要 ↓ ガイダンスが流れます 伝言の録音をする(30秒以内)	171 をダイヤルする ↓ ガイダンスが流れます 再生の場合 2 暗証番号を利用する再生は 4 ↓ ガイダンスが流れます 連絡を取りたい被災地の方の固定電話番号または携帯電話・IP電話の番号をダイヤルする。 0 0 ↓ ガイダンスが流れます プッシュ回線の場合は 1 ダイヤル回線の場合はダイヤル不要 ↓ ガイダンスが流れます 伝言の録音内容を確認する

“Web171” を検索、又は、
下記 QR コードでアクセス



(出所)NTT

別紙 4

緊急連絡先

連絡先	電話番号	備考
消防	119	
東京消防庁 救急相談センター	#7119	病院か救急車か迷ったとき
警察	110	

避難所

区分	場所	目的
指定避難所 (避難所)	長池小学校	安全確保、臨時生活 (延焼火災を除く)
指定緊急避難場所 (広域避難場所)	東京都立大学	延焼火災・有毒ガス等の危険から身を守る

関連施設

施設	名称・場所	住所
給水ステーション	南大沢給水所	南大沢 4-25
公衆電話	ファミリーマート松木公園店	別所 1-69-6
	別所お月見公園前	別所 2-54
	別所実緑地(道路沿い)	別所 1-37
AED	長池小学校	別所 1-55
	長池学童保育所 第一クラブ	別所 1-45-3
	長池学童保育所 第二クラブ	別所 1-55
	松木公園 八王子スポーツパーク 管理事務所	別所 1-56-2
	エヌ・シティ西町会 クラブウエスト前	別所 1-64-4
	別所一丁目第二団地 集会場前	別所 1-48-1
	ライオンズヴィラッジオ 5000 集会棟 1F 自販機ルーム	別所 1-42-1
	ライオンズ南大沢ヒルズ エントランス	別所 1-46
	レーベンスガルテン長池Ⅰ 3号棟 エントランス	別所 1-53-1
	レーベンスガルテン長池Ⅱ 10号棟 エレベーター前	別所 1-53-2
	レーベンリヴァーレ南大沢 テラス棟/ヒルズ棟 エントランス	別所 1-45-7
	セブンイレブン八王子南大沢店	南大沢 2-211-16
	久富歯科 別所診療所	別所 1-75-4
	ファミリーマート松木公園店	別所 1-72
	ファミリー見附橋 4号棟 エントランス	別所 1-54-4
	せいがの森こども園 職員室前【小児専用 AED】	別所 1-73